

# ふるさとファイル

展示コーナーだより  
第 49 号  
平成 24 年 1 月  
生涯学習課文化財係



## 村絵図でたどる、 ふるさとの景観

展示期間

平成 24 年 1 月 5 日 (木)

～3 月 31 日 (土)

※図書館休館日を除く

※期間中、展示史料の変更を行う予定

市域に残された古文書のなかには、江戸時代の村々を描いた絵図も多く伝わっています。これらの資料から近年の都市開発で失われてしまった、かつての村のようすをたどることができます。

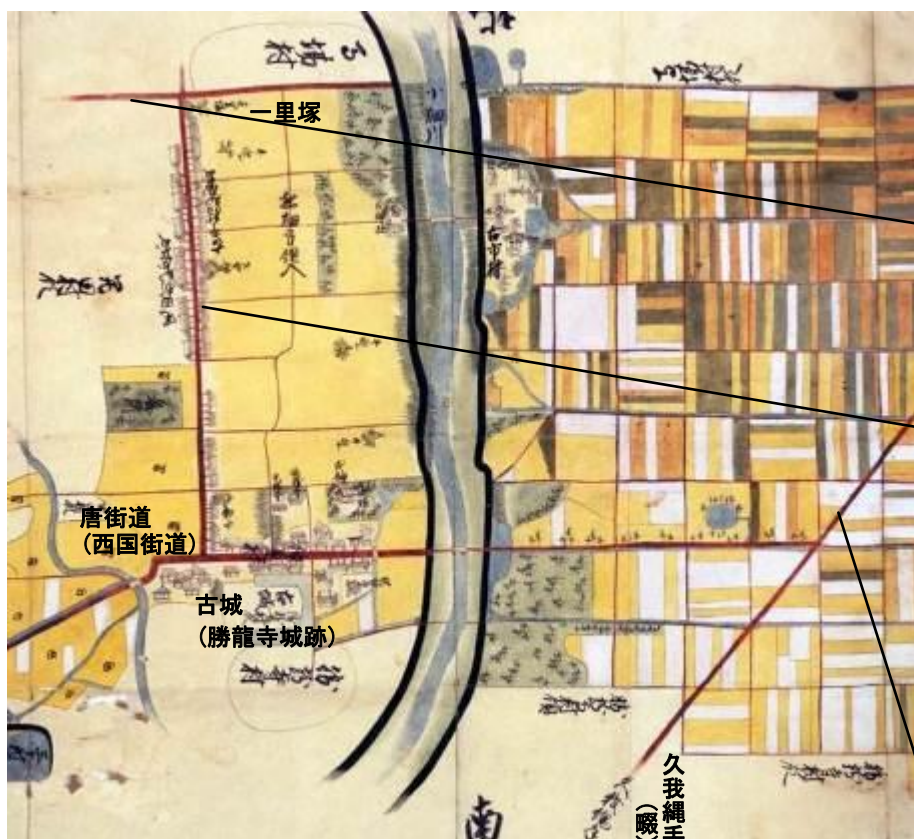
今回の展示では、市域の村々を描いた江戸時代の絵図と写真を比較展示し、失われてしまった江戸時代の景観、あるいはその名残を探ります。



### 江戸時代の絵図

江戸時代の村では、必要に応じてさまざまな村絵図が作成されました。村境や田畑、道路、用水路など土地の利用状況を色分けして描いた村絵図や、他村との争論決着後に証拠として作成されたもの、用水や山林など共有財産を管理するために作成されたもの、災害後の被害状況を記したものなど、その時々が必要に応じて描写の中心は異なっています。

これらの絵図は、近代の地図に比べると縮尺や細部の記述が不正確なものが多く、記載内容にも精粗がありますが、当時の村の景観を色彩豊かに伝えています。



一里塚の道標 (平成 6 年、東から)



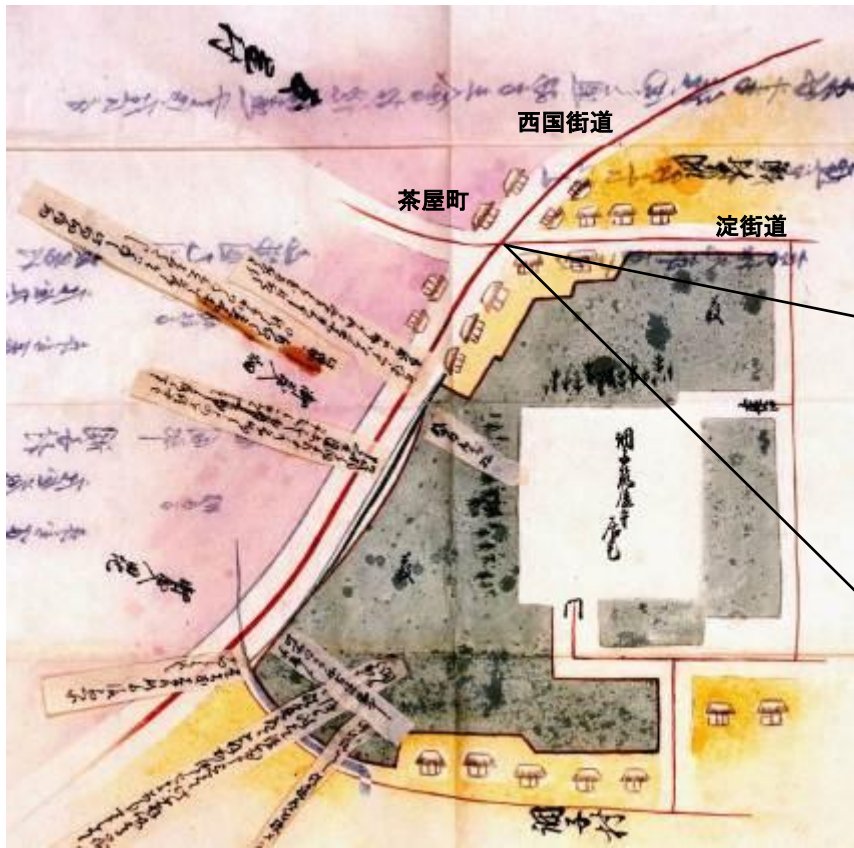
西国街道 (昭和 27 年、南から)



久我驛 (昭和 55 年、西南から)

### 年未詳「城州乙訓郡古市村神足村絵図」(古市区有文書)

絵図の中央に小畑川が描かれ、神足村と古市村の田畑が入り組み、街道に沿って「町」が形成されているようすがわかります。



享和元(1801)年「山城国乙訓郡友岡村・調子村立会絵図」

(教育委員会所蔵)

友岡村と調子村との境界(西国街道)をめぐる争論が和談となったさいに両村で取り交わされた絵図です。絵図の中央に在地領主であった調子家の居宅を配し、その周囲を藪が取り囲み、門前や西国街道沿いに家が並んでいるようすが描かれています。



西国街道と淀街道の交差点

(平成 23 年、南から)

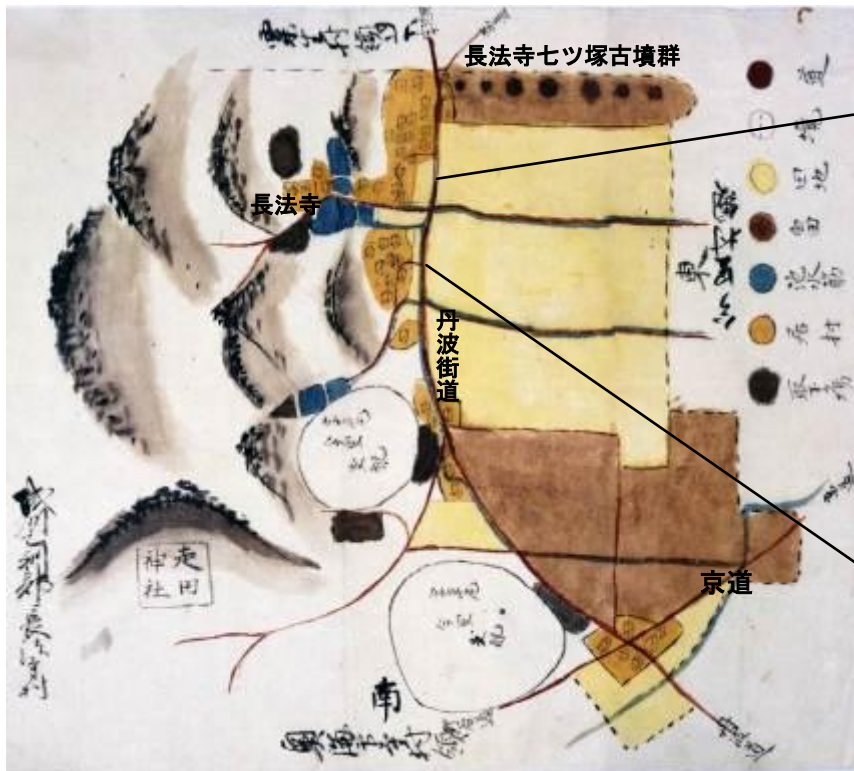
写真正面が調子と友岡の村境にあたる西国街道、横切る道が淀街道です。



西国街道と淀街道の交差点

(平成 23 年、北から)

写真正面奥に、現在工事中の京都第二外環状道路と西山が写っています。



年未詳「城州乙訓郡長法寺村田面絵図」(個人蔵)

絵図の中央を丹波街道が走り、村の西にあるため池から街道をまたいで東に広がる田畑を灌漑しているようすがわかります。絵図右上の7つの茶色の丸は長法寺七ツ塚古墳群で、そのうち3基が残っています。



丹波街道を通過する国体旗リレー

(昭和 31 年、個人蔵)

写真奥に点在する木立は、開発で消失する前の長法寺七ツ塚古墳群です。



丹波街道

(平成 22 年、走田神社へ行く道との分岐点)